



6月13日聖徳太子1400年大祭実行委員会を開催する



第 137 号  
(令和3.7.10)

信 楽 寺

〒690-0052

松江市堅町88

TEL (0852) 21-1589

FAX (0852) 21-1590

郵便振替口座番号

01450-3-13538



**聖徳太子1400年大祭**  
この夏7月22日から25日まで  
秘仏聖徳太子像の50年に1度  
のご開帳を致します。皆様お参り下さい。

法然上人  
**浄土宗**  
開宗850年  
お念仏からはじまる寺社  
2024

暑中お見舞い申し上げます

ぼんせがきほうよう  
**盆施餓鬼法要** ご案内

8月4日(水) 午前10時より

昨年同様にコロナ対策をしながら勤めます。  
本堂内の席数は限られますので、初盆を迎えられるお檀  
家様を優先に、座ってもらいたいと思います。  
一般のお参りは10時から11時までの間、本堂正面に於て  
流れ焼香のお参りにご協力下さい。  
ご回向の為の緑色の封筒を同封しております。回向した  
いご先祖様の戒名を書いて、事前にお届け頂くか、当日受  
付にてお渡し下さい。  
灘側駐車場を開けておりますのでご利用下さい。  
また特別に聖徳太子像をご開帳します。

**お盆前** 信楽寺墓地 一斉清掃  
松尾町墓地

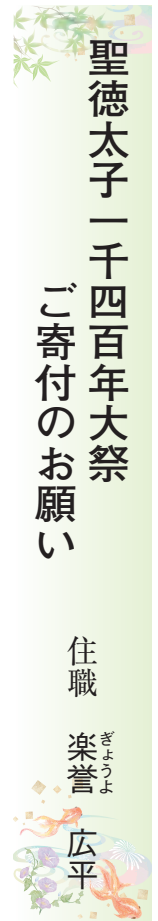
8月1日(日) 午前6時 本堂にておつとめ  
午前6時30分より墓地清掃

\*冷たい牛乳を用意しております。  
墓地をきれいにしてお先祖様をお迎えしましょう。  
掃除道具・暑さ対策の用意をお願いします。

# 聖徳太子一千四百年大祭

## ご寄付のお願い

住職 楽誉 広平



ワクチン接種が進み、少しずつ希望の光が見えつつあるように思われます。自粛生活が続き、どうしても運動不足になりがちな日々、朝10時5分前のNHKのテレビ体操を妻とするのが日課となりました。

皆様には、お変わりなくお過ごしのことと存じ上げます。

「つきかげ」前号、前々号に掲載しました通り、今年も聖徳太子様一千四百回忌の年となります。

当山聖徳太子堂にお祀りされている太子像は、元隠岐の

島にあった御像を、時の松江城主松平直政公が霊夢に感じて、松江城作業場の守護としてお迎えになられた。と伝えられる由緒ある太子像です。

そこで今年も五十年に一度のご開帳の年に当たり、7月22日から25日までの四日間特別公開を致します。

ほとんどのお方が、最初で最後の機会となるはずの、この大切なご縁をお見逃しにならないませぬよう、是非お参りいただきたいと思えます。お待ち申し上げております。

当つきかげ表紙の通り聖徳

令和3年・4年  
7月22日~25日

# 秘仏開帳

世間虚偽  
私は菩薩と説き給う  
御開帳の御縁、御いせの  
ご開帳  
五十年に一度の  
ご開帳

## 聖徳太子一千四百年大祭

信楽寺

太子一千四百年大祭の実行委員会をお檀家様の代表として十七名の方々にご指名させて頂いたこと、そのほかに堅町町内会会長様にもご出席賜り、話し合いを行いました。

その結果、特別公開は、今年と来年の二年に渡って行うこととし、コロナの流行病の収束が待たれる来年に、多くの方が集まれる状況になっていけば、本堂でのイベントを考えたいと決まりました。

また、昭和63年に先代住職が屋根瓦の葺き替え工事をして以来、全く手を加えることなく参りました太子堂を今回専門家に調査してもらいました。床工事・天井・内装仏具関係の修繕が必要であるとのお返答があり、来年7月の大祭に間に合う様に修繕を予定しております。

そこで、今回同封しましたビニールの封筒一式は一千四百年大祭のご寄付のお願いであります。お檀家の皆様、地域の皆様、より多くの方々に大祭のご縁を結んでいただいで、今後、五十年後、百年後に恥ずかしくない太子堂を残したいと思えます。

このコロナ禍が続く、皆様の生活が困窮するなか、ご寄付をお願いすることは、大

変に心苦しい限りではございませんが、なにとぞ趣旨をご理解いただき、ご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

ご寄付いただきました方々のご芳名は住職が書き残し、巻物にして太子像厨子にお納めして、末代まで残してまいります。

文中に書きました通り、私にとつて初めてであり、最後になるご開帳です。

世の中はオリンピックが無事に来るのか、いつ元の生活に戻るのか、先が見えない不安な時代を生きる私達です。

そんな時代だからこそ聖徳太子様のご利益に預かり、コロナウイルスの病氣平癒・家内安全・家運隆昌を願って、お参りをいただきたいと思っております。

特に信楽寺太子像は「孝養像」と言われる、十六歳の姿であります。お父様である用明天皇様が病氣になられた時に、その病氣平癒を願っておつとめをされているお姿です。そのお姿を拝み、元のような平穏な日々が、一日も早く取り戻せますようにおつとめをしたいと思えます。

重ねてご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

## 今年の棚経について

昨年は初めてお盆の棚経を中止いたしました。お盆の間、本堂でおつとめをする所へ皆様にお参りに来ていただきました。

一年中止して気がついたことは、やはりお盆の棚経は重要なおつとめであり、大切な意味があるのだと云う事です。

棚経で皆さんの自宅にお邪魔しないことで、お家の様子が全く分からなくなり、お寺とお檀家様との関係性を続けていく上で、一番大切な部分が欠落してしまっただけを深く感じました。

この夏もまだ心配な状況ではありますが、同封致しました棚経の順番通り、副住職と手分けして皆様のお宅にお邪魔致します。副住職には事前PCR検査を受けさせ、万全な状態でお参りしたいと思えます。どうしても心配なお宅は、ご連絡下さい。

## 浄土宗新聞について

毎月一回発行されます浄土宗新聞が無償化となり、まとめてお寺に届けられる送料だけを支払えばよくなりました。

浄土宗新聞は内容が充実し、かつわかりやすい新聞であります。

年に二回つきかけ発送に同封し、お檀家の皆様に読んでもらいたいと思っております。

その他の月の新聞もお寺に取りに来て頂けますと、いつでもお渡し出来ますので、浄土宗について、法然上人のお念仏のみ教えについて、わかりやすく書いてある浄土宗新聞を是非お読みください。

## 墓地枯花処分について

以前より墓地の枯花について、極力お持ち帰りいただくことにご協力をお願いしております。

夏本番となり、お墓にお供えしたお花も、瞬く間に水が

蒸発し枯れてしまします。また、公共の乗り物をご利用される方に、臭い枯花をお持ち帰りいただくのも、気の毒に感じております。

私も週に二回の燃えるゴミの日には極力枯花を集めて出すようにしています。お陰で十袋ぐらいのゴミ袋が門前に出ることも珍しくありません。

何も知らないお檀家様から「私の墓花がいつも取られるのですが」と言われたこともございます。きれいな花を捨てたつもりはありませんが、当方でも努力はしておりますので、皆様にもできるだけご協力をお願い致します。

また、最近造花をお供えになられるお墓も増えてまいりました。枯花処分の問題解決の意味からも造花は良いのかもしれませんが、造花も永遠の物ではありません。古い造花をいつまでもお供えするのはいかがかと思われます。両隣のお墓にもお気遣いいただきながら、お墓のお供え、墓前の草取りなど墓地の美化にご協力賜りますようお願い申し上げます。

## 今夏の蓮華

いまのところ順調に成長しております。多分この「つきかげ」が着く頃が一番の見頃となると思われます。どうぞ早朝の新鮮な空気と蓮華をお楽しみください。

ただし、咲いているのは午前中です、お気を付けください。



日曜閑談 サント・ドミンゴ

瀧川 正久



(一) 王様河

サント・ドミンゴに着任してから1年3カ月近くなり、少しづつ土地の案内に通じて来ました。日本から来られるお客さんに見ていただくところは、結局、コロンブスとトルヒーリヨの残した遺産ということになります。この国もこの国なりに近代化しつつありますが、日本からアメリカを通して来られる方に、そのような施設をご覧に入れても、ナンダということにならるのは必定なので、この方はまあ序で一見してもらおう程度にすましています。

さて飛行場から車を飛ばして約20分で市の入口にさしかかります。昼間ですと、左側に点在する椰子の木ごしにややサイケ調ともいえる紺碧のカリブ海を、そして右側に緑したたる中に赤や黄の色彩をちりばめた熱帯性植物群の出迎えを眺めつつ、あくまでもまぶしい陽光の下をひた走り、都市の門戸とおぼしき場所

円形のつり橋に進入することになります。私も始めてここに来て、眼下に展開する流域の光景が鮮やかであったので、この河は何といひますかと聞いたら、出迎への館員の人は「オーサマ・ガワです」と答えました。

もの本によれば、この附近がスペイン（いやコロンブスというべきか）が始めて辿りつき定着したいわばサント・ドミンゴ発祥の地であります。さては、そのころこの近くに原住民の酋長みたいなのが威張っていたのかと一瞬思いました。これは全くの見当違いであったことが後に判りました。この河はリオ・オーサマ Rio Ozama とい、日本語とは何の関係もありません。ただ、Ozama はスペイン語本来の言葉ではないようです。

余談ですが、コロンブスの「アメリカ大陸発見」といういい方は、ヨーロッパ人にはそのまま通用しても、人類全体の立場から見ると、ちよ

とおかしい。オーサマ河もそうですが、ドニミカとハイチのあるこの島を、スペイン語ではエスパニョーラ島と申しているのに、この土地の人はむしろキスケーヤ Quisqueya という名の方を多く使っています。歴史は、非ヨーロッパ的観点からもう一度洗い直してみることが面白いと考えます。

(二) 歩かされて転ぶ

サント・ドミンゴがパルトロメ、コロン（コロンブスの弟）により創立されたアメリカ最古の都会であり、十六世紀の始めコロンブスの息子（ディエゴ・コロン）が総督としてここに居坐り、小さな居城を作ったことは有名です。サント・ドミンゴ大学も新大陸最古とのこと。

コロン博物館は、オーサマ河の河口にあるディエゴ・コロンの居城を後年公開したもので、規模としては小さい（なお、よろいかぶとの類も小さいのを見ると、彼らはそれほど大きな人間ではなかったのかと思います）が、当時の風俗をほうふつたらしめる意味で、見物する値打ちは十分です。また、その附近には、ス

ペインによる征服時代の遺跡（と申しても500年に足りないものですが）が散在しています。

ある日曜日家族を連れて一つ一つ見て廻りました。小さい地域ではありますが、暑い土地ですので相当へばりました。末の息子が、アルカサレテコロンぢやったと冗談口を叩いたことです。コロン博物館は、アルカサール・デ・コロン Alcazar de Colon（コロン居城）というのであります。

.....  
1970年頃筆者ドミニカ大使の時に書かれたものです。



瀧川家家族写真

## 「驚嘆の旅」

宗近誠一郎

「ご実家は浄土宗ですか。日本仏教改革者は法然ですよ、キリスト教ではルターだと私は思っています。ルター生誕の地と一緒に訪ねてみませんか。」

17年前、宗教学者の山折哲雄先生からお誘いを受けドイツのザクセン地方へ随行したのが先生との旅の始まりでした。山折先生の文章を拝借すると「宗近さんは、私がまだ国際日本文化研究センターの所長をしていた時に赴任してこられた。私はそこを翌年に退任したが、その後もお付き合いをさせていただき、学会出張などで海外に出ることが多かった私に随行してもらう機会が増えていった」となります。凡人無教養の私にとって息のほずむような想いを持った旅の連続でした。

まず思い出すのはフランスの

バルビゾン村を2泊4日の強行軍で訪れた時の印象です。

先生の目的はキリスト教徒にも夕日信仰があるのではないかという仮説を確かめるものでした。以前にバチカンを訪ねた時に枢機卿からキリスト教には夕日信仰はないと聞かされていました。ところが、世界的に有名な絵画、ミレーの「落葉拾い」等絵画の背景は夕日ではと疑問を持たれたそうです。私にはフランスの田園風景に見えるのですが、これらの絵画は旧約聖書に基づいた作品だそうです。

バルビゾン村に行ってみると150年前の田園風景が当時のまま一木一草一石みごとに保存してありました。ここに座してミレー落葉拾いを描くと石碑もあり、フランス人の文化、芸術に対する深い造詣に感嘆したも

のです。旅の目的であった絵画の描かれた方角は残念ながら西向きではなく、欧州内陸部独特の気候、昼間でも薄暗く低く垂れこめる雲間からの反射光でした。

また中国へは何度も行ききました。日本の僧、空海の中国での足跡を訪ね修行したお寺を回り、中国三大石窟を拝観し、日露戦争の激戦地二百三高地に登ったりもしました。

そのなかでも中国政府からの依頼で玄奘三蔵（三蔵法師）の生誕の地、河南省洛陽市の奥地まで出かけたことがあります。画家の平山郁夫先生も興味をもたれ鎌倉のご自宅で打ち合わせもしました。現地で玄奘三蔵直系の47、49代目のご子孫が訪ねてこられた時には驚きました。

写真はその時のもので、記憶では陳さんと名乗られたと思います。

これらの国内外の旅を通じ

て、日本の宗教は海外の信じる宗教ではなく、仏様の気配を感じる宗教ではないのかと思うようになってきました。

先日卒寿を迎えられた山折先生から、コロナ騒ぎの中では仙人になるしかないよな。といった気分で過ごしているとあります。世の中落ち着いたら連絡いたします。とお便りがありコロナ禍で旅は中断しています。



左から筆者、三蔵法師のご子孫48代目、49代目、47代目、山折哲雄先生、王敏法政大学教授

## 令和2年度 信楽寺維持費会計

(自 令和2年4月1日～至 令和3年3月31日)

### 収入の部

単位 (円)

	令和2年予算	令和2年度決算	令和3年度予算	備 考
維持費収入	3,000,000	3,034,000	3,000,000	
繰越金	333,977	333,977	430,562	
合 計	3,333,977	3,367,977	3,430,562	

### 支出の部

単位 (円)

	令和2年度予算	令和2年度決算	令和3年度予算	備 考
課金(宗費他)	650,000	624,700	564,000	浄土宗宗費・組費など
法要行事費	400,000	350,837	400,000	盆施餓鬼・新年会
教化布教費	60,000	115,534	120,000	書籍購入費
会議費	160,000	20,272	100,000	総代会・世話人会
つきかげ印刷代	210,000	209,000	250,000	年2回印刷代
租税公課	112,100	112,100	112,100	固定資産税
火災保険	260,000	260,660	270,000	本堂・庫裡・山門・聖徳太子堂
庶務費	350,000	286,660	350,000	コピー機リース代・AEDの設置
通信費	300,000	353,220	400,000	つきかげ発送代
助成費	100,000	60,000	60,000	詠唱会へ
税理士報酬代	160,000	156,832	160,000	
水道光熱費	200,000	150,000	200,000	
雑費	350,000	237,600	350,000	松、樹木剪定代
予備費	21,877	0	94,462	
合 計	3,333,977	2,937,415	3,430,562	

特別積立金合計 2,000,000円

3,367,977 - 2,937,415 = 430,562 (次年度繰越)

会計監査 令和3年6月13日

決算書類を監査し適正に処理されていることを認めます。

笠原 純 印

小倉 俊雄 印



### 令和3年度年会費納入のお願い

令和3年度年会費未納のお宅は早めに納入頂きますようお願い申し上げます。

## 令和2年度寄付金総額 一金 860,000円

年回法事の寄付として頂いた総額です。

この寄付金は次の様に使わせて頂きました。

- ・ワイヤレスアンプ & マイク・本堂仏像棚・掲示黒板新調
- ・トイレ各所修繕・外灯照明新調・コロナ対策用品



2025

### 追善寄付

善母追善 善母追善 善妻追善 善父追善 善母追善 善父追善 善母追善  
 善母13回忌法事追善 善父13回忌法事追善 善妻追善 善従弟追善 善母追善 善夫追善 善両親追善  
 善夫追善 善奉納 善親追善 善夫追善

金一封 金一封 金一封 金一封 金一封 金一封 金一封 金一封 金一封 金一封 金一封 金一封  
 つるし飾り一对

ガラス花瓶 自作四天王像 百八大念珠塗り直し 聖徳太子堂五色幕

施主 白石川 枝川 修己 雅 美子 幸 美彦 司 久 倫 子 見 昭 知 志 利 子 憲 子 佳 子 包 喜 富  
 施主 大江角 浦一 圭 司 久 子 博 昭 知 志 利 子 憲 子 佳 子 包 喜 富  
 施主 松浦 小原 岡崎 西川 森 江 真 高 由 利 子 憲 子 佳 子 包 喜 富  
 施主 小岡崎 森 江 真 高 由 利 子 憲 子 佳 子 包 喜 富  
 施主 松田 勝本 江崎 井上 古藤 小藤 上野 海  
 施主 井上 古藤 小藤 上野 海  
 施主 古藤 小藤 上野 海

### 寄贈図書

ご本人寄贈  
ご本人寄贈

武家屋敷の住宅地図と居住者の変遷  
親子で学ぶ小泉八雲  
・遺体震災、津波の果てに  
・その言い方は「失礼」です！  
・バズる書き方書く力が、人もお金も引き寄せる  
・老〜い、どん！

施主 大矢 幸雄  
施主 宍道 正年著  
施主 吉水 智教上人



十三年前、本堂前百八大念珠の寄贈者、上野誠喜様ご夫婦が、大念珠の塗り直しをしてくださいました。特に子どもに大人気です。きれいになつたお念珠をこれから繰ってお参り下さい。



来海富子様がご主人様の三回忌法事の追善に、太子堂の五色幕を寄贈いただきました。聖徳太子一千四百年大祭に花を添えてくださいました。



小藤包様ご自作の四天王像 四天王像はご本尊様を護る為に、本堂内陣四本の柱に据えています。本堂お参りの際には是非手を合わせ下さい。



井上憲子様・古藤しのぶ様手作りの吊り飾り一对をご寄進くださいました。大変な時間と労力を掛けての大作は、ご両親の十七回忌法要と聖徳太子一千四百年大祭に合わせて作成されました。今後はきれいになった太子堂に奉納させていただきます。

# 令和3年 後半行事予定

行 事	期 日	時 間	場 所	備 考
聖徳太子祭り	7月22日(木) ～25日(日)		聖徳太子堂	ご案内しますように聖徳太子1400年大祭の年に当たり、50年に1度のご開帳を致します。どうぞ皆様お参り下さい。
聖徳太子祭おつとめ 17条憲法写経会	7月22日(木)	おつとめ：午前11時より 写経会：午後1時半より	聖徳太子堂	おつとめは、大祭実行委員で勤めます。期間中は毎日ご開帳していますのでご自由にお参り下さい。
棚 経	8月1日(日) ～15日(日)			お盆にお参りします順番を同封しておりますので、ご確認ください。
墓地一斉清掃	8月1日(日)		信楽寺墓地 松尾町墓地	表紙に記載
盆施餓鬼法要	8月4日(水)	午前10時	当山本堂	午前10時から11時までの間に順次お参りご焼香ください。同封しております供養袋は当日か事前にお寺にお持ちください。新盆のお宅はホールに席を設けますので、10時にお参り下さい。
とうろう流し (松江仏教会主催)	8月16日(月)			毎年大橋川にて行われます灯籠流しは、今年も中止となります。当日は白濁公園に於いておつとめだけ実施することとなりました。
地藏盆おつとめ	8月23日(月) ・24日(火)		松尾町地藏尊 翌町瀬側地藏尊	
おてつぎ信行奉仕団 (本山参拝)				
秋季彼岸供養 永代供養法要	9月23日(木) 秋分の日	午後1時半	当山本堂	流れ焼香ができるように準備いたします。法要の後クラリネットのアンサンブル演奏を予定しています。本堂・ホールに席を設けますのでお楽しみ下さい。演奏は出雲市円光寺曾田光雄上人にご尽力賜ります。
出雲教区檀信徒大会	10月22日(金)	午後より	出雲市大社町 [大社文化プレイスうらら館]	総本山知恩院おてつぎ運動本部との併修行事として、講演とクラリネットのアンサンブル演奏、ゲストとしてPaix (ペペ) のお2人に歌とお話をしてもらいます。
十夜法要	11月3日(水) 文化の日	午前10時より	当山本堂	塔婆の申込みは、後日直接ご案内いたします。
出雲教区詠唱大会	11月4日(木)	午後1時半	松江・東林寺	
今年最後の墓地 清掃・浄焚会	12月5日(日)	午前7時	本堂正面	浄焚会とは、捨てるに捨てられず困っているお守り・お札・お仏壇の道具類の魂を抜いて供養するおつとめです。お気軽にご相談下さい。

中止

\*基本的にどの行事にもお参り頂きたく思っております。どうぞご予定にお組み入れ下さい。

## 定例行事ご案内

### \*御詠歌の練習\*

毎月第2・第4土曜日  
午後1時半より

### \*墓地清掃\*

毎月第1日曜日早朝  
(1・2月はお休みします。来年3月は20日(日)です)

### \*つきかげ会\*

毎月第2日曜日  
午後1時半より

### \*写経会\*

毎月22日午後1時半より  
聖徳太子17条憲法の写経です

いずれの会も随時参加・見学歓迎しております。また、月によって日時・時間の変更する事がありますので、本堂前掲示板にてご確認ください。

## 編集後記

地元公民館からのお便りにスタツフの方の手記が載っていました。「母の死」という題で、お母様の思い出や、お亡くなりになられた場面を書かれたものでした。公民館からのお便りとして、相応しいかどうかとも思いますが、赤裸々にお話には親しみを感じました。先日急に若くして亡くなった従姉のことを思い出しました。た。いつの間にか従姉が亡くなった歳をはるかに越えてしまつたのに、思い出の従姉は亡くなった時のままの五十過ぎの姿なのです。元気で若い姿のままであるのを少し羨ましくも思いました。

生きていれば今はどんな姿になっていたのだろうか、十年後二十年後の姿を想像してみても、やはり亡くなった時の姿しか想像出来ません。

多分お浄土で再会出来る時お思い出のままたのらうか？

そうであらば良いのと思えました。